



消防大学校だより



消防団長科（第67期）

消防大学校では、総合教育（幹部教育）において、消防団の幹部である団長又は副団長に対し、その職に必要な知識及び能力を総合的に修得させることを目的に「消防団長科」を設置しています。

本年度の消防団長科2期（第67期・第68期）のうち、第67期では、全国より消防大学校に集まった25名が平成27年8月24日から28日までの5日間にわたる全寮制の集合教育を終え、全員が無事卒業しました。これで消防団長科の卒業生は、前身の消防講習所を含め2,508名になりました。

教育訓練では、消防庁長官の講話、日本消防協会の秋本会長による消防団幹部のあり方に関する講話をはじめ、消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律が制定されたことに伴い、消防団を取り巻く環境の

変化に対応するため、地域防災室長による消防団運営に関する講義や現場指揮能力の向上のため、指揮シミュレーション訓練の充実を実施しています。

特に指揮シミュレーション訓練では、大規模災害活動事例を学ぶとともに、消防団本部と消防本部との災害発生時における連携及び情報連絡体制の確保をテーマとした学生参加型の訓練を実施しています。

研修を終えた学生からは、「各地の消防団の状況を知ることで参考になった」、「それぞれの科目が実践に繋がる事柄でよかった」等の感想が多く寄せられました。

今後、更なる消防大学校で修得した高度な知識・能力に加え、得られた全国の情報を活かし、地域の安全の確保・維持のために活躍することが期待されます。



消防庁 佐々木長官の講話



日本消防協会 秋本会長の講話



指揮シミュレーション訓練の様子



卒業式の様子



警防科 (第97期)

消防大学校では、専科教育において、警防業務の教育指導的立場にある職員を対象とした研修課程で、警防業務に関する高度の知識及び技術を専門的に修得させ、警防業務の教育指導者等としての資質を向上させることを目的に「警防科」を設置しています。

本年度の警防科2期（第97期・第98期）のうち、第97期では、学生60名が事前教育として約1ヶ月間のeラーニング（インターネットによる個別学習）の受講を経て、平成27年6月10日から7月29日までの50日間にわたる全寮制の集合教育を終え、全員が無事卒業しました。これで警防科の卒業生は6,475名になりました。

教室での座学（講義）では、最新の消防行政の動向に関する講義のほか、火災現場指揮、安全管理、特殊災害対策、医療機関との連携、教育技法等、警防業務の教育指導者として必要な知識の習得に努めました。

実技では、小・中・大隊長としての段階的な指揮訓練、特殊災害対応訓練（BC災害対応）、危険予知訓練、多数傷病者対応訓練等を実施し、広く警防活動における高度の知識及び技術を専門的に学びました。

また、入校中に習得した知識技術の集大成として学生

企画総合訓練を実施し、訓練の企画から実施、検証、報告までの技法を学びました。

さらに、火災件数の減少と熟練職員の大量退職に伴う経験の浅い若年職員の増加や火災性状等の認識不足による受傷事故を減少させるため、実火災体験型訓練（ホットトレーニング）を実施しました。

研修を終えた学生からは、「消防業務に限らず、各分野の最前線で活動している講師や教官から指導していただき、単に知識を得ただけではなく、自分自身の課題も多くみつけることができた」、「指揮訓練において、指揮者としての活動、安全管理の重要性が再認識できた」、「全国に多くの仲間を作るとともに、様々な情報（職場の問題点、各所属の取組等）を交換することができた」など、教育訓練全般及び学生相互の交流を含めて、総合的に有益であったと評価する意見が多く寄せられました。

今後は、消防大学校で習得した幅広い知識と磨きをかけた技術に加え全国の仲間から得た情報を活かして、警防業務の教育指導者として活躍することが期待されます。



総合訓練3（特殊災害対応訓練）の様子



指揮訓練効果確認の様子

問い合わせ先

消防大学校教務部 久富
TEL: 0422-46-1712